

# 麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業の見直し案について

## ●案内図



## ●事業の目的

圏央道相模原愛川ICから約3kmに位置し、アクセス道路の整備による交通利便性の向上が期待される本地区の特性を活かし、産業を中心とした新たな拠点の形成を図る。

## ●概算事業費

### ▶土地区画整理事業

	【見直し案】
総事業費	319億円
(内訳) 工事関連経費	195億円
調査設計費	27億円
損失補償費	31億円
事務費	29億円
地中障害物処理費	37億円
(財源) 国負担分	42億円
市負担分	212億円
地権者負担分	65億円

### ▶都市計画道路

	【見直し案】
(都) 村富相武台線	拡幅整備
(都) 町田新磯野線	拡幅整備
(新規) 補助幹線道路	起終点等の変更※

※土地区画整理事業の施行地区内で完結

## ●第一整備地区土地利用計画の見直し

### ▶現計画



### ▶見直し案



## ●本事業の見直しのポイント

### ▶見直しの方針

法規性の遵守と公平性の確保を図りつつ、事業費の圧縮、事業期間の短縮の視点を最優先として、事業再建の検討を行う。

### ▶土地利用計画の見直し (左下図参照)

- 事業費の圧縮を図るため、現行の土地利用計画を基本に、大街区化、道路等の公共施設整備の見直しを行った。
- 都市計画道路の起終点を施行地区内で完結するよう変更するとともに、幅員を見直した。

### ▶総事業費

【当初事業計画】127億円

【見直し案】319億円

- ☆当初事業計画の課題を見直し、現時点で想定される項目や費用について全て計上
- 未計上費用の計上(地中障害物等の処理費や中断補償費など)
- 事業費の圧縮(処理方法の見直し、大街区化など土地利用の見直しなど)
- 工事や委託費の単価見直し(電線共同溝、物価上昇の影響など)

### ▶施行期間

【当初事業計画】H26.9.30~R6.3.31

【見直し案】H26.9.30~R17年度

※工事完了は、R11年度を予定しています。

## ●事業の効果

- 新たに企業が立地することにより、雇用の方が確保されるとともに、税収が増加する。また、居住者が増加することにより、まちの賑わいが図られる。
- 交通渋滞が解消され、地区内外の居住者や立地企業に快適な交通環境を提供することができる。